

平成 26 年度 日本学術会議 北海道地区会議 事業実施報告

【運営協議会】

第 1 回地区会議運営協議会

平成 26 年 6 月 27 日(金) 北海道大学(札幌市)

・平成 26 年度日本学術会議北海道地区会議事業計画について

第 2 回地区会議運営協議会

平成 26 年 10 月 29 日(水) 北海道大学(札幌市)

・日本学術会議北海道地区会議学術講演会について

【学術講演会】

北海道地区会議学術講演会「高齢化社会の食と医療～心身の健康のために～」

平成 26 年 11 月 14 日(金)13:30～17:20 北海道大学(札幌市)

主催： 日本学術会議北海道地区会議, 北海道大学

参加者： 約 140 名

プログラム：

司会 本間 さと(日本学術会議会員, 日本学術会議北海道地区会議運営協議会委員, 北海道大学大学院医学研究科特任教授)

挨拶 向井 千秋(日本学術会議副会長, 宇宙航空研究開発機構特任参与)

挨拶 安田 和則(日本学術会議連携会員, 北海道大学理事・副学長)

第一部「若さを保つ食と生活習慣」

座長 寶金 清博(日本学術会議会員, 北海道大学病院長)

講演「がんはどこまで予防できるのか」

浅香 正博(北海道大学大学院医学研究科特任教授)

講演「生活習慣と健康－疫学研究から－」

玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究科教授)

第二部「脳を守り、脳老化に挑む」

座長 本間 さと(日本学術会議会員、日本学術会議北海道地区会議運営協議会委員、北海道大学大学院医学研究科特任教授)

講演「睡眠のはなし 良い眠りのために」

内山 真(日本大学医学部教授)

講演「認知症の早期発見と予防」

下濱 俊(札幌医科大学医学部教授)

挨拶 上田 一郎(日本学術会議会員、日本学術会議北海道地区会議代表幹事、北海道大学理事・副学長)

【サイエンスカフェ】

第21回三省堂サイエンスカフェ in 札幌「水がまわれれば暮らしもまわる～開発途上国の貧困をトイレから解決～」

平成27年2月28日(土)15:00～16:30

三省堂書店札幌店(札幌市)

主催： 三省堂書店札幌店

共催： 北海道大学 CoSTEP(北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部科学技術コミュニケーション教育研究部門)、日本学術会議北海道地区会議

参加者：24名

ゲスト： 船水 尚行(日本学術会議連携会員、日本学術会議北海道地区会議運営協議会委員、北海道大学大学院工学研究院教授)

【科学者との懇談会】

平成26年11月14日(金) 北海道大学(札幌市)

向井副会長を囲んで

平成26年度 東北地区会議事業報告

事業名	時期	場所	事業内容
・公開学術講演会	平成26年 10月25日 (土)	岩手大学 参加人数: 学生・教員・企業・一般市民: 110名	テーマ: 『加速器科学が未来を拓く—医療・ものづくり・生命科学への応用—』 <u>学術講演会</u> 1.濱 広幸 (東北大学 電子光理学研究センター 教授) 基調講演「加速器科学の発展と東北放射光施設計画の概要」 2.有賀 久哲 (岩手医科大学 放射線腫瘍学科 教授) 医療「放射線を用いたがん治療」 3.廣沢 一郎 (((公財)高輝度光科学研究センター産業利用推進室長) ものづくり 「放射光による工業材料分析」 4.中川 敦史 (大阪大学 蛋白質研究所 教授) バイオ「放射光を利用したタンパク質結晶構造解析」 <u>パネルディスカッション</u> パネリスト 岩崎 茜 (日本科学未来館)
・地区会議ニュースの発行 (No. 29)	平成27年3月		
・東北地区会議運営協議会	平成27年 3月9日(月)	東北大学 片平北門会館 セリシール 参加人数:10人	運営協議会の位置づけ並びに目的等について報告 平成26年度事業報告並びに27年度事業計画の審議 公開学術講演会の開催を秋田大学で調整する事となった。後日、秋田大学での開催で決定。

平成 26 年度 事業実施報告書

(中部地区会議)

事業名	期日・場所	内 容	出席者数
中部地区会議	平成 26 年 7 月 4 日(金) 福井市 (福井大学 文京キャンパス 事務局第 1 会議室)	1 地区会議代表幹事の報告 2 学術講演会について 3 地区会議ニュースについて 4 平成 25 年度中部地区会議事業実施報告について 6 次回地区会議の開催について	14 名
(科学者懇談会 各県幹事との 打合せ会)		1 科学者懇談会について 2 平成 25 年度科学者懇談会収支について 3 日本学術会議第 166 回総会の傍聴について 4 学術講演会の進め方について	14 名
学術講演会	(福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 13 階大会議室)	1 開会挨拶 2 科学者との懇談 3 講演 (1)「科学の見方、科学的見方」 日本学術会議副会長 家 泰弘 (2)「革新的な分子イメージング技術による臨床画像診断」 福井大学高エネルギー医学研究センター長 岡沢 秀彦 (3)「未開の電磁波－遠赤外光源－の開発と新しい研究の開拓」 福井大学遠赤外領域研究開発センター教授 齊藤 輝雄	約 80 名
中部地区会議	平成 26 年 10 月 31 日(金) 津市 (三重大学 総合研究棟 2 階 第一会議室)	1 地区会議代表幹事の報告 2 学術講演会について 3 地区会議ニュースについて 4 平成 27 年度事業計画(案)について 5 次回地区会議の開催について	18 名
(科学者懇談会 各県幹事との 打合せ会)		1 科学者懇談会について 2 日本学術会議第 168 回総会の傍聴について 3 学術講演会の進め方について	18 名
学術講演会	(三重大学 総合研究棟 II 1 階メディアホール)	1 開会挨拶 2 科学者との懇談 3 講演 (1)「対話する過去と未来－スコットランドの住民投票とは何だったのか?」 日本学術会議副会長 井野瀬 久美恵 (2)「全学で実践しているスマートキャンパスへの取り組み」 三重大学大学院地イノベーション学研究科教授 坂内 正明 (3)「海洋生物の利用～エコ天然物化学と情報発信～」 三重大学大学院生物資源学研究科教授 幹 渉	約 140 名
地区会議ニュースの発行 (No. 137) (No. 138)	平成 27 年 2 月 平成 27 年 3 月	発行部数 550 部 発行部数 550 部	

平成 2 6 年度 近畿地区会議事業実施報告書

日 時	場 所	実 施 事 業	講 演 者	備 考
平成 26 年 8 月 30 日 (土) 13:00～17:45	大阪科学技術セ ンター8 階大ホ ール	日本学術会議近畿地区会議学術講演会 「発電以外の原子力利用の課題と展望」 開会挨拶 講 演 「原子力学の将来検討」 「農学・生命科学における放射線利用」 「加速器の医学利用」 「ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) による難治性がんへの挑戦」 「研究用原子炉を用いた工業生産」	橋田 充 日本学術会議近畿地区会議代表幹事 京都大学大学院薬学研究科教授 馬場 章夫 大阪大学副学長・理事 家 泰弘 日本学術会議副会長 日本学術会議原子力学の将来検討分科会委員長 東京大学物性研究所教授 中西 友子 東京大学農学生命科学研究科教授 日本学術会議連携会員 米倉 義晴 日本学術会議会員 放射線医学総合研究所理事長 鈴木 実 京都大学原子炉実験所教授 河村 弘 (独) 日本原子力研究開発機構福島廃炉技術安全研究所 所長	主催： 日本学術会議近畿地区会議 日本学術会議・原子力利用の 将来像についての検討委員 会・原子力学の将来検討分科 会 大阪大学 後援： 公益財団法人日本学術協力 財団

		「大阪大学における原子力人材育成」 「近畿大学における原子力人材育成」 閉会挨拶 総合司会	山中 伸介 大阪大学工学研究科教授 伊藤 哲夫 近畿大学原子力研究所所長 森山 裕丈 京都大学原子炉実験所所長 中嶋 英雄 日本学術会議会員 若狭湾エネルギー研究センター所長 大阪大学名誉教授	
平成 27 年 3 月 4 日 (水) 10 : 00～11 : 30	京都大学 本部棟 5 階 中会議室 (京都市)	日本学術会議近畿地区会議運営協議会・学術文化懇談会 (同時開催)	議題 1. 平成 26 年度事業報告について 2. 平成 27 年度事業計画について 3. 平成 27 年度近畿地区会議学術講演会について 4. その他	
平成 27 年 3 月		日本学術会議近畿地区会議ニュースの発行 平成 26 年度日本学術会議近畿地区会議の活動報告 平成 26 年度共催の学術講演会の開催報告を掲載		発行部数は 1,000 部

平成26年度日本学術会議中国・四国地区会議実施事業

事業名	期 日 (時期)	場 所	事業内容
第1回 地区会議運営 協議会	平成26年12月6日(土)	くにびきメッセ	【協議事項】 ①平成26年度事業計画(案)について ②平成27年度公開学術講演会について ③平成26年度地区ニュースについて ④中国四国地区会議のホームページについて
第1回 公開学術講演会	平成26年12月6日(土)	くにびきメッセ	【テーマ】 産官学連携による地域活性化 【講演】 大西 隆 日本学術会議会長 野田 哲夫 島根大学教授 野村 律夫 島根大学教授 山本 達之 島根大学教授 波場 直之 島根大学教授 浜田真理子 歌手、松江市ビジョン懇話会委員
第2回 地区会議運営 協議会	平成27年3月2日(月)	広島大学	【協議事項】 ①平成27年度事業計画(案)について
地区ニュース の発行(N0.46)	平成27年3月		中国四国地区の日本学術会議会員・連携会員及び教育研究機関等へ配布

日本学術会議九州・沖縄地区会議

○平成26年度事業報告○

1. 地区会議

1) 平成26年8月7日(書面回議)

(1) 26年度日本学術会議九州・沖縄地区会議事業計画
(熊本大学・大分大学開催)について

2. 科学者懇談会の開催

1) 平成26年11月3日(月) 熊本大学(熊本市)

大西 隆 日本学術会議副会長、谷口 功 熊本大学長 他26名

2) 平成26年12月3日(水) 大分大学(大分市)

伊野瀬 久美恵 日本学術会議副会長、北野 正剛 大分大学長 他19名

3. 学術講演会等の開催

1) 平成26年11月3日(月) 熊本大学(熊本市)

テーマ「いのちの水と生きる ―熊本から世界へ―」

◇演題・講演者

①熊本大学大学院自然科学研究科教授

大本 照憲

「近世の河川設計思想及び九州における近年の河川災害の特徴について」

②熊本大学大学院自然科学研究科教授

嶋田 純

「アジアモンスーン地域における持続的地下水管理のあり方

―熊本大学における研究と教育の両面での活動―」

◇パネルディスカッション

演題：「いのちの水と生きるために」

<コーディネーター> 熊本大学長 谷口 功

<パネリスト>

熊本大学大学院自然科学研究科教授 大本 照憲

熊本大学大学院自然科学研究科教授 嶋田 純

熊本日日新聞社常務取締役 高峰 武

国土交通省九州地方整備局河川部長 古賀 俊行

◇参加者 94名

2) 平成26年12月3日(水) 大分大学(大分市)

テーマ「高齢化社会を支える―地域医療と福祉テクノロジー―」

◇演題・講演者

①大分大学 医学部医学科 教授 宮崎 英士

「超高齢社会における地域医療を担う人材養成」

②大分大学 医学部看護学科 教授 三重野 英子

「認知症ケアに携わる看護専門職の人材育成」

③大分大学 工学部福祉環境工学科 准教授 菊池 武士

「高齢化社会を支えるロボットテクノロジーの可能性」

④大分大学 医学部医学科 教授 松原 悦朗

「新国民病「認知症」：アルツハイマー病の克服に向けて」

◇参加者 88名

4. 地区ニュース(No.113号)発行(平成26年3月)

以上

○今後の予定

●幹事会

第212回幹事会	平成27年 4月24日(金)	13:30から
第213回幹事会	平成27年 5月22日(金)	13:30から
第214回幹事会	平成27年 6月19日(金)	13:30から
第215回幹事会	平成27年 7月24日(金)	13:30から
第216回幹事会	平成27年 8月28日(金)	13:30から
第217回幹事会	平成27年 9月18日(金)	13:30から
第218回幹事会	(第170回総会中)	
第219回幹事会	平成27年10月30日(金)	13:30から
第220回幹事会	平成27年11月27日(金)	13:30から
第221回幹事会	平成27年12月18日(金)	13:30から
第222回幹事会	平成28年 1月29日(金)	13:30から
第223回幹事会	平成28年 2月26日(金)	13:30から
第224回幹事会	平成28年 3月24日(木)	13:30から
第225回幹事会	(第171回総会中)	

●総会

第169回総会	平成27年4月9日(木)～11日(土)
第170回総会	平成27年10月1日(木)～3日(土)
第171回総会	平成28年4月7日(木)～9日(土)